

# 遺愛同窓会と吹奏楽局員の交流

6月20日（土）11:00より、遺愛同窓会の本部総会が謝恩館2階の同窓会室で開かれました。東京支部、仙台支部、旭川支部、札幌支部、苫小牧支部、室蘭支部、函館支部、同窓会本部からあわせて28名の出席でした。

最初に記念写真を撮り、チャペルで礼拝を行い、本部総会に入りました。出川悦子会長、校長の挨拶の後、事業報告、決算・監査報告がなされ承認されました。同窓会会長が改選され、新しく松下二三代さんが同窓会会長となりました。本部役員も入れ替わり新体制で動き始めます。その後、新年度の事業予定、予算も承認され、各支部の様子が紹介されました。新しい動きとしては、江差支部と八雲支部が函館支部に合同することになりました。各支部とも、若い世代の加入が課題として挙げられていましたが、それぞれの地で同窓生同士の良き交わりがあるとのことでした。

午後2時から、ライト館の3階に移動し、部員80名となった吹奏楽局との交流が行われました。新入部員が48名（たぶん全道で一番多いと思われる。）も入部し、勢いづいている遺愛吹奏楽局が夕方、市民会館大ホールで行われる函館地区吹奏楽祭で演奏する曲目を、同窓生の前で演奏しました。テーマは『祭り』で、青、赤、黄のハッピーを着た局員達が迫力満点の演奏をし、同窓生もとても喜んでいました。

2015年6月20日（土）



本部総会記念写真



同窓生の前で吹奏楽局演奏



本部総会の様子